RES-P工法 施工報告書 山田太郎·花子 様邸 新築工事

令和7年1月14日

RES-P工法

管理番号 00-250001

指定施工会社 株式会社 ソイル 〒103-0027 中央区日本橋3-3-12 Tel. 03 - 3273 - 9876 Fax. 03 - 3273 - 9927

RES-P工法 施工報告書

\Box	\/ /-
Ħ	火

I . 工法の概要								1
Ⅱ. 物件概要								2
Ⅲ. 設計概要								2
IV. 工事概要								2
•使用機械								
•使用材料								
•施工期間								
・施工手順								
V.特記事項	•	•			ě		·	3
VI. 施工記録								
・パイプ配置図	•	•			ě		·	4
•打設実績表								5
・パイプ耐力測定結果	•							6
•記録写真								7
•納品書								10

I. 工法概要



ASSESSMENT OF TECHNOLOGY FOR BUILDING CONSTRUCTION

GBRC 性能証明 第 04-02 号 改 12

建築技術性能証明書

技術名称: RES-P 工法

- 小規模建築物の基礎に用いる細径鋼管による地盤補強工法- (改定 12)

申 込 者:大成建設株式会社 代表取締役社長 相川 善郎

東京都新宿区西新宿一丁目 25 番 1 号

株式会社設計室ソイル 代表取締役 高田 徹 東京都中央区日本橋 3-3-12 E-1 ビル 4F

技術概要:本技術は、小規模建築物を対象として、地盤の支持力増加と基礎の沈下低減を図るため

に、地盤中に細径の鋼管を所定の間隔で鉛直に回転圧入し、その上部に直接基礎(布基礎

またはべた基礎)を構築する地盤補強工法である。

開発趣旨:本技術は、施工性やコストの問題で採用できる基礎工法の制約が大きい小規模建築物を

対象として、杭状に打設した細径鋼管と直接基礎の支持力を累加することで所要の支持力 を確保する地盤補強工法である。開発にあたっては、いわゆる"足場パイプ"として広く 流通している細径の一般構造用炭素鋼鋼管を採用することでコスト低減を図るとともに小

型機械での回転圧入を可能とし、施工性の向上を図ろうとしている。

当法人の建築技術認証・証明事業 業務規程に基づき、上記の性能証明対象技術 の性能について、下記の通り証明する。なお、本証明の有効期間は、2027年11月 末日までとする。

2024年11月5日



証明方法:申込者より提出された下記の資料により性能証明を行った。

資料1: RES-P 工法 性能証明のための説明資料

資料 2: RES-P 工法 設計・施工基準

資料3:参考資料 資料4:追加資料

資料5:載荷試験データ集

資料 6: 更新資料

資料1には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した説明資料がまとめられている。 資料2は、本技術の設計・施工基準であり、設計基準、施工基準の他、管理体制などが示

されている。

資料3には、沈下量評価のための解析結果、鋼管の耐久性調査結果などが示されている。

資料4には、鋼管の座屈検討結果などが示されている。

資料5には、各種の鉛直載荷試験結果などが示されている。 資料6には、施工実績や運用体制の維持状況などがまとめられている。

証明内容: 本技術についての性能証明の内容は、補強地盤の鉛直支持力についてのみを対象として おり、以下の通りである。

申込者が提案する「RES-P 工法 設計・施工基準」に従って設計・施工された補強地盤の 長期荷重ならびに短期荷重に対する支持力は、同基準に定めるスクリューウエイト貫入試

験結果に基づく支持力度算定式で評価できる。

また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用

されている。

山田太郎•花子 様邸 新築工事

Ⅱ. 物件概要

承認番号 管理番号 00-250001

 工事名称
 山田太郎·花子 様邸 新築工事

 建設地
 東京都中央区日本橋3-3-12

建設会社 株式会社 ソイル 指定施工会社 株式会社 ソイル

Ⅲ. 設計概要

・補強地盤の許容支持力度 20.0 kN/m²

・適用地盤のタイプ 摩擦的扱いの地盤

・設計パイプ耐力20.0 kN

・パイプ長さ・本数 6.0 m (代表長さ) × 42 本 (総本数)

・用途 住宅・構造 木造

Ⅳ. 工事概要

•使用機械 MSP-800【施工機認定番号:FJM-02】

・使用材料 一般構造用炭素鋼材(STK500 φ 48.6mm t 2.4mm)

めっき処理(GBRC性能証明第04-02号改12に依る)

6.0 m × 42 本

合計 42 本

•施工期間 令和7年1月16日

•施工手順

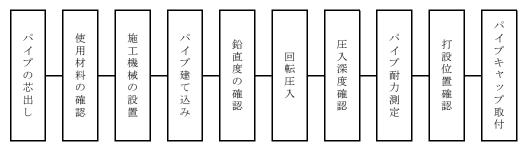


図-5. 施工手順

V.特記事項

計画通りに施工完了した

VI. 施工記録

次頁以降に示す。

- ・パイプ配置図
- •打設実績表
- ・パイプ耐力測定結果

パイプ耐力は施工本数の10%程度で確認することが定められている。

施工本数42本に対し、次に示す値とする。

5本程度

打設直後に測定するパイプ耐力の管理値は、次のように定められている。

- 摩擦的扱いの地盤・・・ 設計パイプ耐力の 30%以上 支持的扱いの地盤・・・ 設計パイプ耐力の 80%以上

本件の管理値は次に示す値とする。

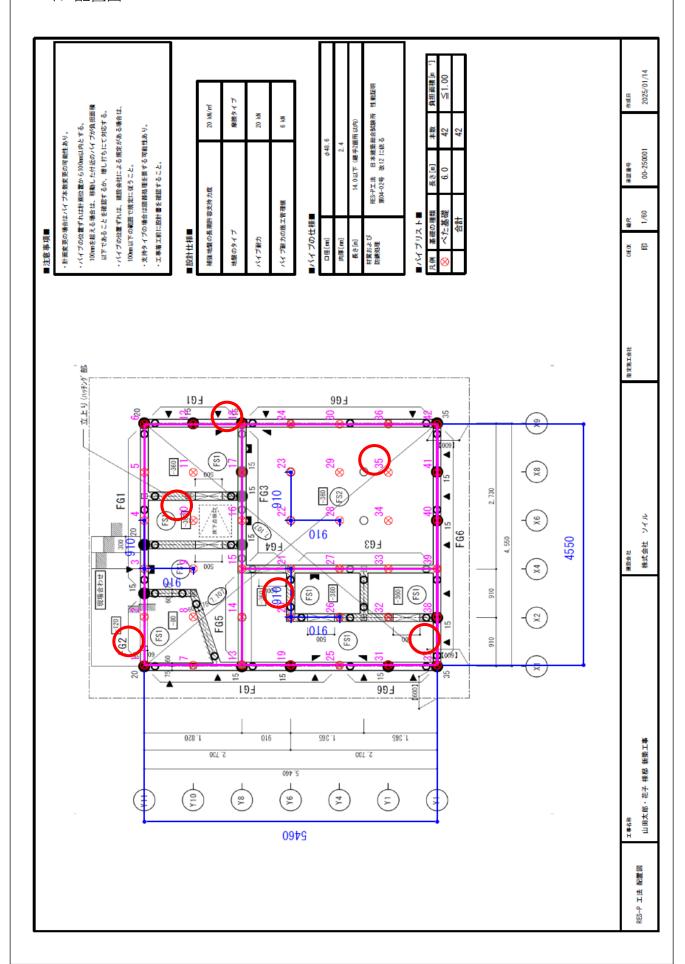
パイプ耐力管理値 : 6.0 [kN] 以上

打設直後に上記を満たすパイプ耐力を確認できない場合は、時間をおいて再度測定し、設計パイプ耐力以上であることを確認する。

•記録写真

打設実績表

パイプ	施工日	長さ	備考	パイプ 番号	施工日	長さ	備考	パイプ	施工日	長さ	備考	パイプ	施工日	長さ	
番号		[m]				[m]		番号		[m]		番号		[m]	
$\frac{1}{2}$	1/16 1/16	6.0	*耐力確認	51 52				101 102				151 152			
3	1/16	6.0		53				102				152			
4	1/16	6.0		54				103				154			
5	1/16	6.0		55				105				155			
6	1/16	6.0		56				106				156			
7	1/16	6.0		57				107				157			
8	1/16	6.0		58				108				158			
9	1/16	6.0		59				109				159			
10	1/16	6.0	*耐力確認	60				110				160			
11	1/16	6.0		61				111				161			
12	1/16	6.0		62				112				162			
13	1/16	6.0		63				113				163			
14	1/16	6.0		64				114				164			
15	1/16	6.0		65				115				165			
16	1/16	6.0		66				116				166			
17	1/16	6.0		67				117				167			
18	1/16	6.0	*耐力確認	68				118				168			
19	1/16	6.0		69				119				169			
20	1/16	6.0	*耐力確認	70				120				170			
21	1/16	6.0		71				121				171			
22	1/16	6.0		72				122				172			
23	1/16	6.0		73				123				173			
24	1/16	6.0		74				124				174			
25	1/16	6.0		75				125				175			
26	1/16	6.0		76				126				176			
27	1/16	6.0		77				127				177			
28	1/16	6.0		78				128				178			
30	1/16 1/16	6.0		79 80				129 130				179 180			
31	1/16	6.0		81				131				181			
32	1/16	6.0		82				132				182			
	1/16			83				133				183			
34		6.0		84				134				184			
	1/16	6.0	*耐力確認	85				135				185			
	1/16	6.0	may a blooder.	86				136				186			
37		6.0	*耐力確認	87				137				187			
38		6.0		88				138				188			
39		6.0		89				139				189			
40	1/16	6.0		90				140				190			
41	1/16	6.0		91				141				191			
42	1/16	6.0		92				142				192			
43				93				143				193			
44				94				144				194			
45				95				145				195			
46				96				146				196			
47				97				147				197			
48				98				148				198			
49				99				149				199			
50				100				150				200			



パイプ耐力測定結果

工 事 名 称: 山田太郎•花子 様邸 新築工事

測 定 責 任 者: 小川

データ数: 6 本 ・・・ 施工本数の10%(5本)以上

データ番	:号	年月日	測定時刻	パイプ長	パイプ耐力	判定
(パイフ	『番号)			[m]	[kN]	
No.1	(1)	2025/01/16	9:00:00	6.0	6.00	OK
No.2	(10)	2025/01/16	9:30:00	6.0	6.50	OK
No.3	(18)	2025/01/16	9:50:00	6.0	7.00	OK
No.4	(20)	2025/01/16	10:20:00	6.0	6.20	OK
No.5	(35)	2025/01/16	10:50:00	6.0	6.80	OK
No.6	(37)	2025/01/16	11:00:00	6.0	7.50	OK

施工管理值 6.0 kN以上

記録写真 - 1





施工前全景

BM·GL確認







地縄・パイプ芯位置確認







材料確認(パイプ)

記録写真 - 2





材料確認(パイプ)

材料確認(継手)







貫入状況



継手使用状況



貫入深度確認

記録写真 - 3





貫入力確認

貫入力確認



施工後全景

納品書

衝要

			'納品書 PAGE 1/ L
			毎月日 得意先コード。、区分。。。。担当。。。。。: 伝票番号。
Table 16 A L Charles			.0619003 完上 UR0B2022)256
株式会社 御中			〒 244-0845 神奈川県横浜市菜区金井町72番
			一 1 4 工
			株式会社 協伸建材與業
			TEL: 045-853-1064
接昂 新築工事			FAX: 045-852-5362
	· Colons statem 数量	単位	
RES-P(片ピン) 48.6 × 2.4	55	本	溶接および加工
3, 000, 000 mm	450,000	kg	
RES-P(両ピン) 48.6 × 2.4	55	4	溶接および加工
	450, 000	kg	
3,000.000 mm 直線ジョイント	EE 000	Arm	部品
旦稼ンヨイント	55, 000	1回	ын
48.6 φ			
鉄キャップ	55, 000	個	部品
48.6 φ			
T .			